

平成24年度 第26回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成24年12月19日(水) 14:35～

場所：理学部E210 講義室

講師：神藤 平三郎 先生 (東京薬科大学名誉教授)

演題：謎解きの楽しみ、研究を一生懸命することで得られるご褒美

要旨：最近の学生(院生)は、概して勉強しない、自分で考えない、先生に頼りすぎる、研究への意欲がない、忍耐力に欠けるなど、さんざんに悪口を叩かれています。確かにその傾向がないわけではありませんが、逆に、そう批判している先生方が初めから研究に意欲を燃やしていたと確信をもって言えるでしょうか。研究への興味や意欲がアプライオリーに備わっている人はめったにいませんし、それは研究の意味を理解して初めて湧いてくるものだからです。

本講義では、ほぼ半世紀前の、既に記憶も朧になった私の学生・院生時代にまで遡って、私が科学研究について何を考え、何に行き詰まり、何を成功させたか、小さな物語をお話しします。その後のアメリカでの、経済的には貧しかったが、研究的には充実した若いころの生活についてもお話しするでしょう。

本講義は、単に私個人の体験談に過ぎませんし、研究内容としても陳腐化していますが、この講義を通して少しでも研究への意欲が呼び起こされたとすれば、望外の幸せです。

《 本セミナーは、5研究科共同セミナー認定科目です 》

連絡先：坂本 尚昭 (理学研究科 数理分子生命理学専攻 内線：7447)